

食クラスター活動について

平成26年 11月

北海道経済連合会

「食クラスター連携協議体」の概要

1. 活動理念

優位性の高い北海道の農水産資源を2次産業や3次産業の皆様との連携・協働により、ブランド力を高める「食の総合産業化」の取組を行い、北海道経済を牽引し地域の雇用の創出と自立的な地域社会の実現を目指す。

2. 主な活動

食に関する生産・加工・流通・販売までの一連の活動を支援する体制「食クラスター連携協議体」を構築し、「食の高付加価値化」、「販路拡大」、「道内への投資促進」に取り組む。

食クラスター連携協議体

設立：平成22年4月1日

事務局(5)

【事務局代表】

北海道経済連合会

JA北海道中央会

北海道経済産業局

北海道農政事務所

北海道

中核支援機関(6)

受付窓口(14): 全道の総合振興局(食クラスター担当を設置)

(地独) 北海道立総合研究機構(道総研)

(公財) 北海道科学技術総合センター(ノーステック財団)

(財) 北海道中小企業総合支援センター

(独) 中小企業基盤整備機構 北海道本部

(社) 北海道貿易物産振興会

(社) 北海道食産業総合振興機構(フード特区機構)

食クラスター連携協議体への参画状況

平成26年3月末現在、**2,138の企業・団体**が参画。業種別内訳は以下のとおり。
 なお、**農協の参画数は60。**

食クラスター連携協議体 参画者（業種別）					企業（食関連）の業種別内訳		
		H26/3		H25.3対比	備 考		
		参画者数	構成比	増 減			
産	生産者等 A	264	12.3%	+4	農協、漁協 農業生産団体等	食料品製造業	474
	企業（食関連）	812	38.0%	+12	食料品製造・卸 小売、食品機械等	水産加工	101
	企業（食関連以外）	436	20.4%	+12	マスコミ、観光 流通、商社、建設、情報	パン・菓子	75
	団体・支援機関	357	16.8%	+4	業界団体、経済団体（商工 会議所等）、消費者団体等	冷凍食品・惣菜	52
	（小計）	1,869	87.1%	+32		酒類・飲料	40
学	大学・高校	31	1.4%	0	大学、高専、高校等	畜産	35
官	国・市町村	194	9.1%	0		乳製品	30
金	金融機関	44	2.1%	0		調味料	28
	合 計	2,138	100.0%	+32		製粉・製麺	28
						健康食品	20
						上記以外	65
						卸・小売	298
						食関連機械	20
						バイオ関連	20
						合 計	812



販売促進

道産素材盛り上げ隊との連携による新たなメニュー及び商品開発



【活動内容】

道内に拠点を置く大手食品メーカー（7社）と卸売業（2社）が中心となって、北海道の食材を使ったメニュー提案により、北海道素材を応援し消費拡大を図る

【メニュー提案事例】



調理時間 約15分



調理時間 約20分



調理時間 約20分



調理時間 約10分



販売促進

食クラスター参画企業等と大手食品メーカー等とのビジネスマッチング - 1

【富良野農協 & カゴメ(株)】

「野菜生活100ハスカップミックスジュース」の販売



取組概要：富良野産ハスカップ20tを使い商品化全国発売
(H25. 6~10)

販売成果：ジュース (1,900万本)
ハスカップ (20t)

その他：H26年度は、北海道のみ継続販売が決定。

【中札内村農協(株) & 味の素(株)】

「コンソメ & 枝豆=ペペロンチーノ」のメニュー提案



取組概要：消費者への新メニュー提案により消費拡大を図る
(H25. 7)

販売場所：東光ストア (札幌市内3店舗)

【(株)日本アクセス & ハウス食品(株)】

「バーモントカレー&道産カット野菜」のセット販売



取組概要：バーモントカレー発売
50周年に合わせた道産野菜
とのセット販売 (H25. 9)



販売場所：豊月 (道内13店舗)
札ドラ (札幌2店舗)

その他：好評につき、シチューと道産
野菜のセット販売を検討

【帯広市川西農協 & 北日本フード(株)】

「長いも漬物」の商品開発&販売



取組概要：規格外長いもの有効活用による商品開発と販路拡大を図る

販売場所：道内大手スーパー (H25. 9~3)



その他：当初9-12月限定販売のところ、
販売好調につき、3月末まで
販売延長。H26年度からは首都圏
での販売を計画中。

販売促進

食クラスター参画企業等と大手食品メーカー等とのビジネスマッチング - 2

【食クラ連携協議体 & 道東ラルズ(株)】 「食クラ・マルシェ開催」(食クラ商品の販促イベント)



取組概要: 食クラ商品の販路拡大を図るとともに、定番化商品を目指(H25.10)

販売場所: スーパーアースク桜町店



その他: 鮭削り節(羅臼)がお店の定番商品化に内定

【帯広市川西農協 & 味の素(株)】 「イオン十勝道産デー」メニュー提案



取組概要: 長いも鍋の新メニュー提案を行い消費拡大を図る(H25.10)



販売場所: イオン道内30店舗

その他: 首都圏向けの販路拡大を検討中

【食クラ連携協議体 & フードバレー十勝、帯広物産協会、トブケットとかち】 「十勝・帯広フェア」開催



取組概要: マックスバリュ全店において十勝の特産品を一同に集め、フードバレーとかち協議会、ホクレン、JA北海道中央会、道経連の後援のもと開催(H25.11)

販売実施: 道内マックスバリュ54店舗

その他: 他地域(北見)、首都圏での展開を検討中

【帯広市川西農協 & ミツカン(株)】 「長いも鍋」のメニュー提案



取組概要: メニュー提案により消費拡大を図る
「十勝川西長いも」& 「ストウブ鍋つゆ」
(H25.11~12)



販売場所: 十勝管内フクハラ14店舗

販売促進

食クラスター参画企業等と大手食品メーカー等とのビジネスマッチング - 3

【鎌田きのこ(株) & ハウス食品(株)】

「十勝のアヒージョ」のメニュー提案型販売



取組概要：

十勝アヒージョのメニュー提案を行い消費拡大を図る

販売場所：Aコープ木野店
(H26.2)

その他：販売好調につき、次期開催を検討



【食クラ連携協議体 & 高瀬物産】

高瀬物産(株)と個別商談会

取組概要

外食産業向けの卸業を営む高瀬物産(株)と食クラ連携協議体の登録商品の商談会を開催。



取組成果：

(株)マルデン
銀聖鮭スモークサーモン等の取り扱い決定。
(株)小山製麩所
湯葉山椒炊き、しの湯葉等がH26年度より商品化決定



【中札内村農協 & イオン・マックスバリュ】

中札内産ブランドの枝豆が販売開始

取組概要：

全道のイオン・マックスバリュ北海道にてH26.4より、販売開始(専用の包装パッケージを採用)

- 店頭販売価格
300gパック = 298円
200gパック = 198円



【中札内村農協 & カゴメ(株)】

中札内産枝豆を使用した「枝豆スープ」が商品化

取組概要：

中札内産の枝豆(枝豆ペースト)を使用し、カゴメの通販商品として、60歳以上のシルバーエイジを対象とした商品「枝豆スープ」がH26夏に販売予定



販売促進

大手食品メーカー等と食クラスター参画企業等とのビジネスマッチング - 4

【中札内村農協 & 山崎製パン(株)】

中札内産枝豆のペースト入りのあん
ホイップクリームをサンド

取組概要：
H26.7より、北海道イオングループの各スーパー（イオン、マックスバリュ等）で販売開始



【道経連&キリンビール(株)&ホクレン】

「北海道農産物を使った全国カクテルコンクール2014」開催

取組概要：カクテルコンクールにより道産野菜の消費拡大を図る（H26.8）



実施概要：北海道産野菜（長芋、パプリカ、小豆等）を使ったカクテルコンクール。北海道経済連合会会長賞に札幌市の「BAR MADURO」のパプリカを使ったカクテルが受賞

【丸果札幌青果 & (株)成城石井】

成城石井での惣菜加工の素材として北海道の安心・安全な野菜を提案。

取組概要：
成城石井セントラルキッチンにおいて、「メロン」「アスパラ」が北海道産素材として採用。今後「じゃがいも」「にんじん」についても利用を検討中



【道内各農協等&カゴメ(株)等】

「未利用素材の活用」について検討中



■アスパラガスの切下
JA道北なよろ&カゴメ(株)
⇒ジュースの原料での活用を検討

■ブロッコリーの軸・葉
江別加工企業&カゴメ(株)
⇒ジュースの原料での活用を検討

■ホタテのミミ
⇒水産加工場&飲食店（名古屋）
⇒ホタテのミミを付出しとして検討



販売促進

道内市町村とサッポロビールHDとの協働による首都圏でのブランド戦略

【留萌市・長万部町・別海町・函館市・網走市・上富良野町・厚岸町&(株)サッポロライオン】

「道内地域ブランドを活用した首都圏へのアプローチ事例」

(株)サッポロライオンが運営する首都圏のご当地居酒屋において、道内市町村の地元食材を使った料理と地ビールを提供し、地域の食と観光をPR

北海道から、おいしいもの、発信！

～札幌開拓使麦酒醸造所の「独自ビール」と「ご当地酒場」の展開・協働～

留萌市
●シーフードダイニング 留萌マルシェ 秋葉原駅前店
(株)サッポロライオン

上富良野町
●まるごと上富良野

網走市
●東農大コラボビール「祝」

別海町
「海鮮居酒屋おおい北海道 別海町酒場 神田東口店」
(株)サッポロライオン
「海鮮居酒屋おおい北海道 別海町酒場 新大手町ビル店」
(株)サッポロライオン

函館市
●金森麦酒

厚岸町
●オイスターブラック

長万部町
「海鮮居酒屋おおい北海道 長万部酒場 銀座店」
(株)サッポロライオン

ふるさとのために、何ができるだろう？
★北海道はサッポロビール

生産者と飲食店、流通バイヤーとの新たな商流構築

<平成26年度>

北の産地コネクトツアー2014の開催 (H26. 8. 27~29)



中京圏の飲食業界の方々を招き、北海道の中でも農水産の一大産地である十勝・網走地方の生産者を訪問。北海道の安心・安全を学ぶとともに、道産小麦をはじめ農・畜・水産品の商談会等を開催し、北海道産品の供給と中京圏の需要をつなぐキッカケ作りを行う。

19社(総売上高2,100億円),25名の参加

主催 : 北海道経済連合会、食クラスター連携協議体、北海道産小麦消費拡大モデル実行協議会
後援 : 名古屋市、帯広市、網走市、日本航空株式会社、ホクレン農業協同組合連合会、十勝毎日新聞社
協賛 : サッポロビール株式会社



JA中札内村
枝豆焼酎の商談が
決定



十勝まきばの家
57名が参加し商談



なまら十勝野
とうもろこしの畑買い
の商談が内定



大野ファーム
牛の1頭買い
の商談



辛味大根圃場
オーダーメイドの
野菜作りに挑戦



水産加工現場
未利用のホタテのミミ
の商談

北海道産小麦普及拡大 平成25年度～ 5年間（予定）

国の6次産業化事業の積極的活用（日本の食を広げるプロジェクト）



概要

- ◇ 我が国の食糧用小麦の総需要量は約570万ト。
- ◇ 国産小麦の生産量は85万8千ト(H24)で、このうち北海道は58万6千ト、シェアは68%。
- ◇ 小麦の食料自給率 11～14%(作柄により変動)
- ◇ 用途別の自給率では、日本めん用は60%、中華麺用5%、パン用3%。
- ◇ 外国産小麦の主な輸入元はアメリカ、カナダ、オーストラリア。国が一元的に輸入し、実需者へ売渡し。
- ◇ 外国産小麦の価格(平均)は、50,130円/ト。北海道の代表的な品種「きたほなみ」45,016円/ト、硬質系品種「春よ恋」97,815円/ト。

【用途別の自給率(H21)】

食料用需要 (製粉用)	数量	自給率	
		国産 (%)	輸入 (%)
日本めん用	57万t	60%	40%
中華めん用	41万t	5%	95%
その他めん用	81万t	7%	93%
パン用	152万t	3%	97%
菓子用	72万t	14%	86%
家庭用	18万t	23%	77%
その他製粉	99万t	2%	98%

- ◇ 国では、食料自給率50%を目指し、小麦に関しては、H32の生産数量目標を180万トに設定。
- ◇ 北海道では、小麦の生産努力目標(H32)を、日本めん用 106,100ha→88,000ha
パン中華麺用 9,600ha→30,000ha に設定

＜新たな品種の開発＞

- ゆめちから
H21に優良品種となった超強力系の秋まき小麦。中力系の「きたほなみ」とブレンドすることで、製パン・製めんの高い評価。
- つるさち
H24に優良品種となった中華麺適性のある秋まき小麦。

国産麦・道産麦の消費拡大に向けて

＜麦チェン！の取組＞

- H21から、輸入小麦から道産小麦への利用転換を進める「麦チェン！」を推進。
- 生産・加工・消費の関係者の取組
 - ・ロゴマークの作成
 - ・麦チェンサ ポーター店の登録 (全道258店)
 - ・安定生産技術の確立

＜他県の動き＞

- 福岡県「ラー麦」
- 香川県「うどん県」

取組方針

＜実行協議会の設立＞

- 協議会名：
北海道産小麦消費拡大モデル実行協議会
- 構成機関・団体
北海道農政部
北海道農業協同組合中央会
ホクレン農業協同組合連合会
北海道製粉連絡協議会
北海道経済連合会
- 農水省「日本の食を広げるプロジェクト事業」を活用し、国産麦・道産麦の消費拡大の取組を展開。

＜具体的な活動＞

- 事業では、以下の取組を実施。
 - ① 新商品の開発、評価試験の実施
 - ② 商談会等への参加
 - ③ 消費拡大促進フェア等の開催
- 協議会の下部組織として、行政、試験研究、農業団体、実需業者等によるワーキンググループを設置。



北海道産小麦普及拡大

国の6次産業化事業の積極的活用（日本の食を広げるプロジェクト）



H25年度 具体的な取組

1. 「日本の麦の底力」への出展

- H26.1.22 東京プリンスホテル
・国内産麦の味比べイベント（北海道・福岡県・香川県）

2. 麦チェン！北海道フェスタの開催

- H26.2.3 ホテル札幌ガーデンパレス
・講演 福岡圏（ラーメン）、香川県（うどん県）
北海道（北見オホーツク塩焼きそば）
・交流会（小麦を使ったご当地グルメの試食会）

3. 札幌市内ホテルとの連携によるPR

- H26.2.5～11
・札幌雪まつり期間中の朝食に北海道産小麦を利用したパンを提供
実施ホテル
・札幌グランドホテル
・京王プラザホテル札幌
・札幌パークホテル
・JRタワーホテル日航札幌
・すみれホテル
・センチュリーロイヤルホテル
・札幌プリンスホテル



4. 首都圏における北海道産小麦のPR

- H26.2.6～8 三越伊勢丹新宿本店
・大北海道展「ブーランジェリーポーム」ブースでのPR

5. 麦に関する情報提供

＜オントナへの掲載＞

- ・H26.3.26発行 道産小麦「ゆめちから」のPR記事掲載
※ オントナ＝毎週水曜日、北海道新聞夕刊とともに無料発行
（札幌市、小樽市内約22万戸に配付）



【日本の麦の底力】



【麦チェン！北海道フェスタ】

・さっぽろ雪まつり開催期間限定メニュー[麦チェン！北海道]

2014年2月5日(水)～2月11日(火・祝)の雪まつり期間、
100%北海道産小麦を使用した
「玉ねぎのロールパン」と「ほうれんそうのロールパン」を
お楽しみいただけます。



＜“麦チェン”運動とは＞

地産地消の観点に立ち、北海道における生産から流通・加工、消費の関係者が一体となっ
て、需要の高い小麦の生産や北海道産小麦を使った新商品の開発、販路拡大、PR活動な
ど、輸入小麦から北海道産小麦への利用転換に向けて取り組む運動です。

【札幌グランドホテル HP 広告】



【伊勢丹新宿店でのPR】



【オントナでのPR】

北海道産小麦普及拡大

国の6次産業化事業の積極的活用（日本の食魅力再発見・利用促進事業）



H26年度 具体的な取組

「みんなで育てるパンプロジェクト」

HTBキャラクターonちゃん、MC、視聴者参加による北海道産小麦を使ったパンを開発し、「10月イチオシ！まつり」で商品のお披露目を行う。その後全道および首都圏のローソン各店舗（予定）で販売を展開し、道産小麦のPR・普及拡大を図る。



麦ちゃん!北海道 × イチオシ! in HTB イチオシ!まつり

みんなで育てるパンプロジェクト